

第6章

まとめと展望



第6章 まとめと展望

我が国においては、今後さらに人口減少が進むと想定されており、そうした中で雇用の確保という観点から女性活躍が叫ばれ、2015年にいわゆる女性活躍推進法が制定、施行された。さらに、育児休業や介護休業に関する法律も要件緩和の改正がなされるなど法的な制度は整備が進んだ。

また、近年は、共働き世帯が増加し、女性の年齢階層別労働力率いわゆるM字カーブも以前よりはそのカーブが浅くなっている。

本報告書第2章で触れているとおり、育児や家事は夫婦で行うのが良いということが、研究上も指摘されている。

しかしながら、子どものいる世帯における育児については、父親の育児参加時間の増加はわずかであり、母親がその大部分を担っている現状に大きな変化は見られない。

本調査により、就業中の育児期女性の方が、自尊感情や人生に対する満足度が高いことが明らかになった一方で、育児期の男性において旧来的な性役割指向が高いことも明らかになり、育児期の女性と男性の認識や考え方にはギャップがあるものの、こうした個人の意識は、長年にわたる社会通念や生育などによるものと考えられ、一朝一夕で変化するものではない。しかし、育児期女性の心理的側面への理解や支援は、子どもたちの健やかな育成にも重要なかわりがあることから、このギャップを少しずつでも縮めていく必要がある。

本研究は、2年間にわたり大学と行政の共同により行ってきた。

各区においては、待機児童対策をはじめとした育児期の女性や男性に向けての事業など様々な子育て関連の事業を行っているが、様々なライフスタイルや行政需要がある中において行政のみでは限界がある。また、本研究に見られるように、実態の把握や専門的な知見もまた重要である。

こうしたことから、さまざまなニーズに対応するためには、地域住民や企業・NPOをはじめとした民間の力の活用そして教育機関との連携をさらに強め進めていく必要がある。

将来を担う子どもたちのためにも、真の男女共同参画社会を実現に向けて、本報告が広く活用されることを期待したい。



資料編

皆さまの回答が、データ分析を通して、
区の施策に反映されます！



お仕事や育児の
状況など



アンケート回答

板橋区

北 区

東京家政大学

特別区長会
調査研究機構

施策・事業に反映しま
す。

例えば・・・
セミナーの開催、子育て中の男
性・女性向け冊子の発行、子育
て中の男性・女性との協働による
講演会 など

男性・女性それぞれが
抱える困難を明らか
にし、より良い支援の
あり方を検討します。

自治体の行政課題の
解決につとめていき
ます。

アンケート調査の回答にあたっての留意事項

- 1 回答は、必ずご本人様が記入をお願いします。また、調査票や封筒にお名前・ご住所は記入しないでください。
- 2 回答できる質問にのみお答えください。回答しないことによって、不利な扱いを受けることはありません。
- 3 各設問について、最も適当と思われる番号に○印をつける又はカッコ内に内容をご記入ください。
- 4 内容はすべて統計的に集計し、個人の考えが公表されることはありませんので、率直にお答えください。
- 5 お答えいただく調査内容は、令和2年4月1日を基準日として、お答えください。
- 6 記入いただきましたアンケート調査票は、お手数ですが6月19日（金）までに同封しております返信用封筒（切手を貼る必要はありません）でお送りください。インターネットで回答される場合は以下の専用アドレスからご回答ください。（URL が分かり次第 QR コードも差し替えます→）
[https～](https://)
- 7 このアンケート調査の集計作業については、株式会社ケー・デー・シーに委託していますので、返信用封筒のあて先が株式会社ケー・デー・シーとなっている旨をご了承願います。



【お問い合わせ先】

・板橋区の方 板橋区役所 総務部 男女社会参画課 電話：03-3579-2486
・北 区 の方 北 区 役 所 総務部 多様性社会推進課 電話：03-3913-0161

子育て中の皆さまへ

子育て中の男性に向けたアンケート
ご 協 力 の お 願 い

みなさんの声をお聞かせください！

共働き家庭の増加や少子高齢化による女

性活躍の推進により、男性の家事・育児
への積極的な関わり必要性が高まって
います。

しかし、職場や家庭での様々な事情で、
家事や育児に思うように関わっていないと
いう男性も多いのではないのでしょうか。

長時間に及ぶ労働や、家庭でのコミュニケ

ーションの行き違い…。子育て中の男性を
悩ませる要因は数多く考えられます。

皆様のお悩みや困りごとを正確に把握し、
各自治体が効果的な施策を行っていくた
めにも、是非今回のアンケートを通じて、
率直なお気持ちをお聞かせください。

アンケートの目的

男女が共に活躍できる社会の実現のためには、女
性だけでなく、男性の側からの育児やワーク・ライ
フ・バランスに対する悩みを把握することが大切で
あると考え、今回のアンケート実施に至りました。
皆様からいただいたアンケート調査の結果は、板
橋区、北区、特別区長会調査研究機構が行政課
題の解決に向けた取組を進めていくうえで、
大変貴重なデータとなります。日々の仕事や家
事・育児でお忙しいなかのお願いとなりますが、一
人でも多くの方にご回答いただければ幸いです。

アンケートの概要

板橋区内にお住まいで、現在子育て中の男性3,065
名、北区内にお住まいで、現在子育て中の男性
1,935 名を無作為抽出により選ばせていただきました。
集計結果は、子育て中の男性・女性に対する取組等
を進めていくための基礎資料として活用させていただきます。
アンケートの結果は、令和3年3月末頃に、特別区
長会調査研究機構のホームページ等で公表いたしま
す。



特別区長会
調査研究機構

板橋区・北区・東京家政大学・特別区長会調査研究機構共同研究

子育て中の男性・女性に向けて、いろいろな取組を進めています

板橋区



(板橋区男女社会参画課ホームページ)



いたばしアイカレッジ(男性版)

男性の家事・育児参画を促進するため、家事・育児スキルの修得や、職場や家庭でのコミュニケーション能力の向上をテーマにした講座を開催しています。

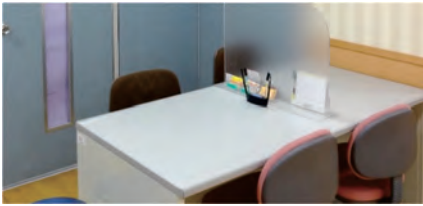
いたばしパパ月間

パートナーである男性（父親）に、家事・育児に積極的に参加する意識を持ってもらえるよう、毎年10月を「いたばしパパ月間」と位置づけ、様々な取組を行っています。



男女平等推進センター総合相談（電話相談）

夫婦や親子などの家族関係、職場での人間関係など様々な困りごとについて、経験豊富な相談員が皆さまの気持ちに寄り添ってお話をお聞きます。育児中の男性もお気軽にお問い合わせください。



その他の取組

講座やセミナーを受講している間、区が派遣する保育者がお子さんをお預かりするなど、子育て中の方が参加しやすい環境を整え、様々な取組を進めています。

北 区



(北区スペースゆうホームページ)



みんなで育児応援プロジェクト

地域における子育て支援の輪を広げ、多世代が育児に関わる環境づくりを推進するため、育児に関する講座やワークショップ等を実施しています。



アプリ「きたハピモバイル」

最新の子育て支援情報の確認や、予防接種のスケジュール管理が簡単に設定できる、「きたハピモバイル」。

是非ご活用ください！

詳細はこちらの QR コードからご覧ください →



その他の取組

参加者がそれぞれに抱えている悩みや関心のあることを、グループで話し合いながら、自分に合った子育ての仕方を学ぶ「パパのための親育ちサポート事業」など、男性の子育てサポートする事業を実施しています。

そのほか、子育てに関する不安を解消し、子どもの健全育成を支援するための子育て相談を児童館・子どもセンターで実施しています。

板橋区と北区では、男女共同参画行動計画「いたばしアクティブプラン 2020」（板橋区）、「第6次アゼリアプラン」（北区）を策定し、それぞれの施策の目標達成に向け、日々、取組を進めています。

2020 年度 子育て中の男性に向けたアンケート

本アンケート調査は、未就学児を育てている男性の育児状況や育児に対する思い、ワークライフバランスなどについて実態を把握し、育児期家庭の支援に向けての知見を得ることを目的として行う調査です。

2019 年度から板橋区・北区・東京家政大学・特別区長会調査研究機構は共同で、子育て中の親を支援するための基礎的な研究に取り組み、この調査は研究の一環として実施するものです。

調査の回答は、行政の基礎資料として活用します。また、研究成果は報告書にまとめ特別区長会調査研究機構などのホームページで公表するほか、学会発表によって公表する予定です。

なお、本アンケートは、無記名でのアンケート調査であり、個人を特定できるような形で公表は行いません。また、個人情報の取扱いを含め、十分な倫理的配慮を持って取り扱うこととお約束いたします。

ご記入に際してのお願い

1 アンケート調査票の記入方法

- ◆封筒の **あて名に表示のあるお子様のお父様** がご記入ください。
- ◆ご回答は、質問ごとの説明にしたがい、このアンケート調査票に **直接ご記入** ください。選択肢の中からあなた様ご自身のお考えに近い番号を選び、質問文に示された数の範囲内で **番号に〇印** をつけ、又は、**所定の欄に番号、数値、文章を記入** してください。

2 アンケート調査票の返送方法

- ◆ご記入いただいたアンケート調査票は、お手数ですが **6月19日（金）までに**、以下の**いずれかの方法**でご回答ください。
回答方法① パソコン、スマートフォン等により以下の専用アドレス(URL)からご回答ください。
<http://pcsurvey.sakura.ne.jp>
回答方法② 同封しております返信用封筒に入れ、郵便ポストに投函してください。
※返信用封筒に切手は不要です。
※**封筒にお名前・ご住所をご記入いただく必要はありません。**
- ◆このアンケート調査の集計作業については、**株式会社ケー・デー・シー** に委託していますので、返信用封筒のあて先が **株式会社ケー・デー・シー** となっている旨をご了承願います。

3 個人情報の取扱い及び回答の自由

- ◆本アンケート調査は**無記名**で行います。
- ◆調査の回答は統計処理の手法により、個人の特定をできない方法で集計を行います。
統計処理を行ったデータについては、情報の安全管理を適正に行った上で、板橋区、北区、東京家政大学及び特別区長会調査研究機構で研究のために活用します。
- ◆本アンケート調査で得た情報は、東京家政大学が、論文執筆の基礎資料等として活用することがありますが、個人が特定されるような方法で用いることはありません。
- ◆本アンケート調査で得た情報は、本研究の目的以外に用いることはありません。
- ◆本アンケート調査は、協力の同意が得られた場合にのみ実施し、協力者はいつでも回答を拒否することができます。協力を拒否することにより、不利益を被ることはありません。
- ◆上記について、ご理解・ご同意いただけた方は、次のページから始まる質問にお答えください。
アンケートの返送により、上記に同意したものとみなして取り扱いいたします。

4 本調査に関する問い合わせ先

あなたの基本的なプロフィールについてお答えください。
設問ごとに記入または該当する数字に〇をつけてください。

設問 1 あなたの年齢をお答えください。 （ ） 歳

設問 2 あなたの最終学歴をお答えください。在学中の場合は、最終とみなしてお答えください。

- | | | | |
|---------|----------------|------------|--------|
| 1. 中学卒業 | 3. 専修学校、各種学校卒業 | 5. 四年制大学卒業 | 7. その他 |
| 2. 高校卒業 | 4. 短期大学、高専卒業 | 6. 大学院修了 | () |

設問 3 同居家族は、あなたを含めて何人ですか。(単身赴任のご家族は、同居家族に含みません)

- | | | | |
|-------|-------|-------|--------------------------------|
| 1. 2人 | 3. 4人 | 5. 6人 | 7. 8人以上 |
| 2. 3人 | 4. 5人 | 6. 7人 | 8. 同居している家族はいない ⇒ 設問 5へ |

設問 4 どなたと同居をしていますか。同居している方をすべてお選びください。

- | | | |
|----------------|--------------------------|-----------|
| 1. 配偶者またはパートナー | 4. 自分の母 | 7. その他の家族 |
| 2. 子ども () 人 | 5. 配偶者またはパートナーの父 (具体的に) | |
| 3. 自分の父 | 6. 配偶者またはパートナーの母 | |

設問 5 あなた自身についてお答えください。

(1) あなたの仕事の形態についてお答えください。

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1. 会社経営者・役員 | 7. 公務員 |
| 2. 正社員・正職員 | 8. 自営業の家族従業者 |
| 3. パート・アルバイト（フルタイム） | 9. 内職 |
| 4. パート・アルバイト（短時間勤務） | 10. 無職 ⇒ 設問 6へ |
| 5. 契約社員・嘱託社員 | 11. その他 () |
| 6. 自営業主・自由業者 | |

(2) あなたの仕事の内容についてお答えください。

- | | | |
|----------|------------------|------------------|
| 1. 人事・総務 | 6. 販売・窓口 | 11. 医療専門職 |
| 2. 経理 | 7. 研究開発 | 12. その他の専門・技術職 |
| 3. 企画・広報 | 8. 生産工程・労務作業 | 13. 教育職（幼・小・中・高） |
| 4. 事務 | 9. 情報システム | 14. 運輸 |
| 5. 営業 | 10. サービス（調理、接客等） | 15. その他 () |

(3) あなたの 1 週間あたりの労働時間は、どれにあたりますか。

残業時間も含めてお答えください。

- | | | |
|---------------|---------------|--------|
| 1. 10 時間未満 | 4. 30～40 時間未満 | 7. 休業中 |
| 2. 10～20 時間未満 | 5. 40～50 時間未満 | |
| 3. 20～30 時間未満 | 6. 50 時間以上 | |

(4) 育休についてお答えください。あなたは長子の妊娠～出産時に、育休を取りましたか？

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. 取った | 3. 取るつもりはなかった（理由：) |
| 2. 取りたかったが取れなかった | |

設問6 あなたと同居のお子様についてお答えください。
 以下の表の項目に、記入または該当する数字に○をつけてください。
 （同居のお子様が5人以上の場合は、末子から4人についてお答えください。）

	上から1人目	2人目	3人目	4人目または末子
生年月（西暦）	（ ）年 （ ）月	（ ）年 （ ）月	（ ）年 （ ）月	（ ）年 （ ）月
健康状態 （最も近い状態 一つに○）	1. おおむね良好 2. 軽い持病あり 3. 重病・難病あり 4. 障がいあり 5. 回答しない	1. おおむね良好 2. 軽い持病あり 3. 重病・難病あり 4. 障がいあり 5. 回答しない	1. おおむね良好 2. 軽い持病あり 3. 重病・難病あり 4. 障がいあり 5. 回答しない	1. おおむね良好 2. 軽い持病あり 3. 重病・難病あり 4. 障がいあり 5. 回答しない
在籍状況（現在）	1. 保育園 2. 幼稚園 3. 認定こども園 4. 小学校 5. その他 6. 在籍していない	1. 保育園 2. 幼稚園 3. 認定こども園 4. 小学校 5. その他 6. 在籍していない	1. 保育園 2. 幼稚園 3. 認定こども園 4. 小学校 5. その他 6. 在籍していない	1. 保育園 2. 幼稚園 3. 認定こども園 4. 小学校 5. その他 6. 在籍していない

設問7 あなたの配偶者・パートナーについてお答えください。

1. 配偶者またはパートナーはいない ⇒ **設問8へ**
 2. 配偶者またはパートナーがいる ⇒ **設問7（1）へ**

（配偶者またはパートナーがいる人のみ）

（1）配偶者またはパートナーの年齢をお答えください。（ ）歳

（2）あなたの配偶者・パートナーは現在、収入をとまなう仕事をしていますか。

1. している ⇒ **設問7（3）～（5）へ**
 2. している（産前・産後・育児休業中等） ⇒ **設問7（3）～（5）へ**
 3. していない（求職中） ⇒ **設問7（6）～（9）へ**
 4. していない（求職活動もしていない） ⇒ **設問7（6）～（9）へ**

（3）（仕事をしている人のみ）その仕事は、どれにあたりますか。

- | | | |
|------------|------------------|-----------------|
| 1. 人事・総務 | 8. 販売 | 15. 看護職等の医療専門職 |
| 2. 経理 | 9. 研究開発 | 16. その他の専門・技術職 |
| 3. 企画・広報 | 10. 生産工程・労務作業 | 17. 教員（幼・小・中・高） |
| 4. 営業事務 | 11. 情報システム | 18. 運輸 |
| 5. その他一般事務 | 12. サービス（調理、接客等） | 19. その他（ ） |
| 6. 営業 | 13. 介護職 | |
| 7. 窓口業務 | 14. 保育士 | |

（4）（仕事をしている人のみ）仕事の形態はどれにあたりますか。

- | | |
|---------------------|--------------|
| 1. 会社経営者・役員 | 6. 自営業主・自由業者 |
| 2. 正社員・正職員 | 7. 公務員 |
| 3. パート・アルバイト（フルタイム） | 8. 自営業の家族従業者 |
| 4. パート・アルバイト（短時間勤務） | 9. 内職 |
| 5. 契約社員・嘱託社員 | 10. その他（ ） |

（5）（仕事をしている人のみ）あなたの配偶者・パートナーの1週間あたりの労働時間は、どれにあたりますか。残業時間も含めてお答えください。

- | | | |
|--------------|--------------|--------------|
| 1. 10時間未満 | 3. 20～30時間未満 | 5. 40～50時間未満 |
| 2. 10～20時間未満 | 4. 30～40時間未満 | 6. 50時間以上 |

⇒ 配偶者・パートナーが仕事をしている人は設問8にお進みください

（6）（仕事をしていない人のみ）あなたの配偶者・パートナーが最後に就いていた仕事は、どれにあたりますか。

- | | | |
|------------|------------------|-----------------|
| 1. 人事・総務 | 8. 販売 | 15. 看護職等の医療専門職 |
| 2. 経理 | 9. 研究開発 | 16. その他の専門・技術職 |
| 3. 企画・広報 | 10. 生産工程・労務作業 | 17. 教員（幼・小・中・高） |
| 4. 営業事務 | 11. 情報システム | 18. 運輸 |
| 5. その他一般事務 | 12. サービス（調理、接客等） | 19. その他（ ） |
| 6. 営業 | 13. 介護職 | 20. 仕事に就いたことがない |
| 7. 窓口業務 | 14. 保育士 | → 設問8へ |

（7）（仕事をしていない人のみ）あなたの配偶者・パートナーが、最後に従事した仕事の就業形態はどれにあたりますか。

- | | |
|---------------------|--------------|
| 1. 会社経営者・役員 | 6. 自営業主・自由業者 |
| 2. 正社員・正職員 | 7. 公務員 |
| 3. パート・アルバイト（フルタイム） | 8. 自営業の家族従業者 |
| 4. パート・アルバイト（短時間勤務） | 9. 内職 |
| 5. 契約社員・嘱託社員 | 10. その他（ ） |

（8）（仕事をしていない人のみ）あなたの配偶者・パートナーが最後に従事した仕事を辞めたのはいつですか。

- | | | |
|--------------|--------------|--------------|
| 1. 半年以内 | 4. 2年1ヶ月～3年前 | 7. 5年1ヶ月～6年前 |
| 2. 7ヶ月～1年前 | 5. 3年1ヶ月～4年前 | 8. 6年1ヶ月以上前 |
| 3. 1年1ヶ月～2年前 | 6. 4年1ヶ月～5年前 | |

(9) (仕事をしていない人のみ) あなたの配偶者・パートナーが最後に従事した仕事を辞めたのはなぜですか。

以下から三つまで選んでください。

1. 家事・育児に専念するため、自発的に辞めた
2. 家族（自分を含む）の転勤のため
3. 家族（自分を含む）の要望で
4. 本人の体調不良のため
5. 子どもの体調不良のため
6. 残業等があり、時間的に家庭との両立が不可能だったため
7. 職場が家庭との両立に無理解だったため
8. 子どもの預け先がないため
9. 勤務を続けてもキャリアの進展が見込めないため
10. やりがいがないため
11. 解雇・退職勧告があったため
12. その他（

設問8

昨年のあなたの世帯（あなた自身及び生計をともにしている家族）の総収入は、およそいくらでしたか。また、あなた自身の収入は、およそいくらでしたか。いずれも税金・社会保険料などを差し引かれる前の総収入でお答えください。

※ 自営の場合は、売上高などから必要経費を除いた金額をご記入ください。収入なしの場合には、「0（ゼロ）」をご記入ください。

あなたの世帯 およそ	万円
------------	----

あなた自身	およそ	万円
-------	-----	----

設問9

子育てにおいて助けになるサポートを、誰から、どの程度得ることができていますか。
4段階で項目ごとに該当する数字に一つ○をつけてください。

	まったく 得られていない	あまり 得られていない	少し 得られている	十分に 得られている
(1) 配偶者またはパートナー	1	2	3	4
(2) 自分の父母	1	2	3	4
(3) 配偶者またはパートナーの父母	1	2	3	4
(4) その他の家族	1	2	3	4
(5) 保育園等の専門職	1	2	3	4
(6) ファミリーサポートなどの地域サービス	1	2	3	4
(7) 民間サービス	1	2	3	4
(8) その他 ()	1	2	3	4

設問 10

あなたと、あなた以外の家族の、家事・育児の分担はどの程度ですか。
合計で 100%になるように数字を記入してください。

あなたの分担		%
あなた以外の家族の分担		%

設問 11

生活の中での「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の優先度について、下記の選択肢から、(1) あなたの希望に最も近いもの、(2) あなたの現実(現状)に最も近いものをそれぞれ一つ選んで、数字を記入してください。

(選択肢)

1. 「仕事」を優先
2. 「家庭生活」を優先
3. 「地域・個人の生活」を優先
4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先
5. 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先
6. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先
7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先
8. わからない

(記入欄)

(1) あなたの希望に最も近いもの ⇒	
(2) あなたの現実最も近いもの ⇒	

設問 12

今のあなた自身についてお答えください。以下の項目について5段階でもっとも当てはま
ると思う数字に一つ○をつけてください。

	まったくあてはまらない	あまりあてはまらない	どちらともいえない	ややあてはまる	とてもあてはまる
(1) 私は、自分に満足している	1	2	3	4	5
(2) 私は、自分がだめな人間だと思う	1	2	3	4	5
(3) 私は、自分には見どころがあると思う	1	2	3	4	5
(4) 私は、たいいていの人がやれる程度には物事ができる	1	2	3	4	5
(5) 私には得意に思うことがない	1	2	3	4	5
(6) 私は、自分が役立たずだと感じる	1	2	3	4	5
(7) 私は、自分が少なくとも他人ぐらいは価値のある人間 だと思う	1	2	3	4	5
(8) もう少し自分を尊敬できたと思う	1	2	3	4	5
(9) 自分を失敗者だと思いがちである	1	2	3	4	5
(10) 私は、自分自身に対して、前向き態度をとっている	1	2	3	4	5

設問 13

以下の項目について、あなた自身がどの程度あてはまるか選んでください。項目ごとに
7段階でもっとも当てはまると思う数字に一つ○をつけてください。

	まったくそう 思わない	そう 思わない	あまりそう 思わない	どちらでも ない	少しそう 思う	そう 思う	非常にそう 思う
(1) 大体において、私の人生は理想に近い	1	2	3	4	5	6	7
(2) 私の人生は、素晴らしい状態である	1	2	3	4	5	6	7
(3) 私は、私の人生に満足している	1	2	3	4	5	6	7
(4) 私は、これまでの人生の中で、こうしたいと 思った重要なことはなしとげてきた	1	2	3	4	5	6	7
(5) 人生をもう1度やりなおせたとしても、変え たいことはほとんどない	1	2	3	4	5	6	7

設問 14

今のあなた自身についてお答えください。以下の項目について、5段階でもっとも当ては
まると思う数字に一つ○をつけてください。

	まったくあてはまらない	あまりあてはまらない	どちらともいえない	ややあてはまる	とてもあてはまる
(1) どんなことでも、たいいてい何とかなりそうな気がする	1	2	3	4	5
(2) 昔から、人との関係をとるのが上手だ	1	2	3	4	5
(3) 自分の性格についてよく理解している	1	2	3	4	5
(4) たとえ自信がないことでも、結果的に何とかなると思う	1	2	3	4	5
(5) 自分から人と親しくなることが得意だ	1	2	3	4	5
(6) 嫌な出来事があったとき、今の経験から得られるものを 探す	1	2	3	4	5
(7) 自分の考えや気持ちがよくわからないことが多い	1	2	3	4	5
(8) 自分は体力がある方だ	1	2	3	4	5
(9) 努力することを大事にする方だ	1	2	3	4	5
(10) 人の気持ちや、微妙な表情の変化を読み取るのが上手だ	1	2	3	4	5
(11) つらいことでも我慢できる方だ	1	2	3	4	5
(12) 決めたことを最後までやりとおすことができる	1	2	3	4	5
(13) 思いやりを持って人と接している	1	2	3	4	5
(14) 困難な出来事が起きても、どうにか切り抜けることが できると思う	1	2	3	4	5
(15) 交友関係が広く、社交的である	1	2	3	4	5
(16) 人と誤解が生じたときには積極的に話をしようとする	1	2	3	4	5
(17) 嫌な出来事が、どんな風に自分の気持ちに影響するか 理解している	1	2	3	4	5
(18) 嫌な出来事があったとき、その問題を解決するために 情報を集める	1	2	3	4	5
(19) 嫌なことがあっても、自分の感情をコントロールできる	1	2	3	4	5
(20) 自分は粘り強い人間だと思う	1	2	3	4	5
(21) 他人の考え方を理解するのが比較的得意だ	1	2	3	4	5

設問 15

今のあなた自身についてお答えください。以下の項目について、5段階でもっとも当てはまると思う数字に一つ○をつけてください。

	まったく違う	違う	どちらともいえない	そのとおり	まったくそのとおり
(1) 私は、子育てに充実感を感じていません	1	2	3	4	5
(2) 私は、育児をすることに満足感を感じていません	1	2	3	4	5
(3) 私は、育児に関心があります	1	2	3	4	5
(4) 私は、子どもとスキンシップがとれていません	1	2	3	4	5
(5) 私は、子どもと関わる時間を大事にしていません	1	2	3	4	5
(6) 私は、子どもと関わる時間を充分に取りたいと思います	1	2	3	4	5
(7) 私は、育児をすることに喜びを感じています	1	2	3	4	5
(8) 私は、親としての充実感を感じていません	1	2	3	4	5
(9) 私は、子どもとの関係に満足していません	1	2	3	4	5
(10) 私は、親としてだけの自分をむなしいと思います	1	2	3	4	5
(11) 私は、子どもによく話しかけています	1	2	3	4	5
(12) 私は、子どもとコミュニケーションがとれています	1	2	3	4	5
(13) 子どもは、いつも私がいやがることをします	1	2	3	4	5
(14) 私は、子どもの欲求がよくわかります	1	2	3	4	5
(15) 私は、子どもの性格がわかります	1	2	3	4	5
(16) 私は、子どもの個性がわかります	1	2	3	4	5
(17) 私は、子どもの様子がよくわかります	1	2	3	4	5
(18) 私は、現在の子どもの発育がよく分かります	1	2	3	4	5
(19) 私は、子どものこれからの発育の様子を想像することができます	1	2	3	4	5
(20) 私は、子どもを寝かしつけることがうまくできます	1	2	3	4	5
(21) 私は、子どもの気持ちがわかりません	1	2	3	4	5
(22) 私は、子どもに喜びを与えていると思います	1	2	3	4	5
(23) 私は、子どもの食事（授乳）の世話がうまくできます	1	2	3	4	5
(24) 私は、子どもに信頼されていると思います	1	2	3	4	5
(25) 私は、親として以外の自分は充実していると思えません	1	2	3	4	5

(26) 私は、親として以外の自分に満足していません	1	2	3	4	5
(27) 私は、社会の中での自分の役割がわかります	1	2	3	4	5
(28) 私は、社会的に必要とされていると思います	1	2	3	4	5
(29) 私は、親として以外の自分自身に対して前向きではありません	1	2	3	4	5
(30) 私の生き方は、自分で納得いくものだと思います	1	2	3	4	5
(31) 私は、自分なりの生き方を主体的に選んでいると思えません	1	2	3	4	5
(32) 私は、自分自身のことを信頼しています	1	2	3	4	5
(33) 私は、日々の生活をうまくやっていく自信がありません	1	2	3	4	5

設問 16

次の考え方は、あなたの生きる社会において、どの程度受け入れられていると思いますか。5段階でもっとも当てはまると思う数字に一つ○をつけてください。

	ぜんぜんそう思われていない	あまりそう思われていない	どちらともいえない	まあそう思われている	まったくそのとおりだと思われている
(1) 女性は、家事や育児をしなければならないから、フルタイムで働くよりパートタイムで働いたほうがよい	1	2	3	4	5
(2) 女性の居るべき場所は家庭であり、男性の居るべき場所は職場である	1	2	3	4	5
(3) 主婦が仕事を持つと、家族の負担が重くなるのでよくない	1	2	3	4	5
(4) 男の子は男らしく、女の子は女らしく育てることが非常に大切である	1	2	3	4	5
(5) 主婦が働くとき夫をないがしろにしがちで、夫婦関係にひびがはいりやすい	1	2	3	4	5
(6) 家事や育児をしなければならないから、女性はあまり責任の重い、競争の激しい仕事をしないほうがよい	1	2	3	4	5
(7) 娘は将来主婦に、息子は職業人になる事を想定して育てるべきである	1	2	3	4	5
(8) 子育ては女性にとって一番大切なキャリアである	1	2	3	4	5
(9) 結婚生活の重要事項は夫が決めるべきである	1	2	3	4	5
(10) 結婚後、妻は必ずしも夫の姓を名乗る必要はなく、旧姓で通してもよい	1	2	3	4	5
(11) 経済的に不自由でなければ、女性は働かなくてもよい	1	2	3	4	5
(12) 女性が、社会的地位や賃金の高い職業を持つと結婚するのがむずかしくなるから、そういう職業を持たないほうがよい	1	2	3	4	5

(13) 女性の人生において、妻であり母であることも大事だが、仕事をすることもそれと同じくらい重要である	1	2	3	4	5
(14) 女性は子どもが生まれても、仕事を続けたほうがよい	1	2	3	4	5
(15) 家事は男女の共同作業となるべきである	1	2	3	4	5

設問 17 次の考え方は、あなた自身の考え方にどの程度あてはまりますか。5段階でもっとも当てはまると思う数字に一つ○をつけてください。

	ぜんぜんそう 思わない	あまりそう 思わない	どちらとも いえない	まあそう 思う	まったくその とおりだと思 う
(1) 女性は、家事や育児をしなければならないから、フルタイムで働くよりパートタイムで働いたほうがよい	1	2	3	4	5
(2) 女性の居るべき場所は家庭であり、男性の居るべき場所は職場である	1	2	3	4	5
(3) 主婦が仕事を持つと、家族の負担が重くなるのでよくない	1	2	3	4	5
(4) 男の子は男らしく、女の子は女らしく育てることが非常に大切である	1	2	3	4	5
(5) 主婦が働くこと夫をないがしろにしがちで、夫婦関係にひびがはいりやすい	1	2	3	4	5
(6) 家事や育児をしなければならないから、女性はあまり責任の重い、競争の激しい仕事をしないほうがよい	1	2	3	4	5
(7) 娘は将来主婦に、息子は職業人になる事を想定して育てるべきである	1	2	3	4	5
(8) 子育ては女性にとって一番大切なキャリアである	1	2	3	4	5
(9) 結婚生活の重要事項は夫が決めるべきである	1	2	3	4	5
(10) 結婚後、妻は必ずしも夫の姓を名乗る必要はなく、旧姓で通してもよい	1	2	3	4	5
(11) 経済的に不自由でなければ、女性は働かなくてもよい	1	2	3	4	5
(12) 女性が、社会的地位や賃金の高い職業を持つと結婚するのがむずかしくなるから、そういう職業を持たないほうがよい	1	2	3	4	5
(13) 女性の人生において、妻であり母であることも大事だが、仕事をすることもそれと同じくらい重要である	1	2	3	4	5
(14) 女性は子どもが生まれても、仕事を続けたほうがよい	1	2	3	4	5
(15) 家事は男女の共同作業となるべきである	1	2	3	4	5

設問 18 次の言葉に続く文章を、思いつくままにお書きください。正解はありませんので、あまり考えこまずに、頭に浮かんだものをお書きください。

- ☐ 父親である私は_____。
- ☐ 父親でない私は_____。
- ☐ 母親は _____。
- ☐ 私が育児をするのは _____。

設問 19 託児付きで実施してほしい、参加したい講座を以下から選択し、該当する数字に○をつけてください（複数回答可）。

1. 子育てに積極的になる講座

2. 料理など家事（実技）を学ぶ講座

3. 育休復帰に向けた家族の準備などを学ぶセミナー

4. 家事・育児などの分担を考えるセミナー

5. 仕事と子育ての両立（ワーク・ライフ・バランス）講座

6. 起業・就職に関する講座

7. 子どもとの遊び方を学ぶ講座

8. パートナーが喜ぶ家事のポイントを学ぶ講座

9. コミュニケーション力を高める講座
10. パパ・ママの気持ちをリラックスさせる講座

11. 男女平等（男女共同参画）の基本を学ぶ講座

12. ドメスティックバイオレンス・ハラスメントに関する講座

13. ワークショップなどがある仲間づくりができる講座

14. その他（具体的に_____）

設問 20 パートナーに参加してもらいたい講座を以下から選択し、該当する数字に○をつけてください（複数回答可）。

1. 起業・就職に関する講座

2. 災害時の対応等に関する講座

3. マネープラン 家計管理に関する講座

4. ライフプラン 自分の未来を考える講座

5. パソコンのスキルアップ講座

6. ひとり親（離婚の悩みなど）講座

7. 仕事と子育ての両立（ワーク・ライフ・バランス）講座
8. 怒りの感情をコントロールする方法を学ぶ講座

9. 自分の時間をつくる講座

10. 海外のライフスタイルを学ぶ講座

11. コミュニケーション力を高める講座

12. ワークショップなどがある仲間づくりができる講座

13. ドメスティックバイオレンスに関する講座

14. その他（具体的に_____）

設問 21 講座などの情報はどの手段で発信してほしいですか。該当する数字に○をつけてください（複数回答可）。

1. 区広報紙

2. 区ホームページなどインターネット

3. メールマガジン

4. 子育てアプリ
5. チラシ

6. Twitter・Facebook などの SNS

7. その他（具体的に_____）

アンケートは以上です。
ご協力いただき、ありがとうございました。

第 1 章	1
	2
	3
	4
第 2 章	1
	2
第 3 章	1
	2
第 4 章	I
	II
	III
	IV
第 5 章	1
	2
	3
	4
	5
	6
	7
	8
	9
第 6 章	
資料編	

研究体制（◎はリーダー）

◎	東京家政大学人文学部英語コミュニケーション学科准教授	並木 有希
	東京家政大学短期大学部保育科准教授	平野 順子
	東京家政大学人文学部心理カウンセリング学科講師	平野 真理
	板橋区総務部男女社会参画課長	小林 晴臣
	板橋区総務部男女社会参画課男女平等推進係	長島 環
	板橋区総務部男女社会参画課男女平等推進係	小林 成貴
	北区総務部多様性社会推進課長	茅根 薫
	北区総務部多様性社会推進課多様性社会推進主査	桑名 重行
	北区総務部多様性社会推進課	阿部 一希
	千代田区地域振興部国際平和・男女平等人権課長	小川 久美子
	文京区総務部ダイバーシティ推進担当課長	大野 公治
	豊島区総務部男女平等推進センター所長	佐々木 美津子

活動実績

活動項目	実施日・期間	内容
第1回研究会	令和2年 4月16日	メンバー紹介、研究スケジュール アンケート関係の確認 等
(アンケート調査結果共有)		
第2回研究会	9月18日	報告書構成案の検討 等
第3回研究会	10月30日	報告書分担の検討 等
第4回研究会	12月16日	東京家政大学のアンケート研究調査報告、 報告書の検討 等
区側研究会	令和3年 1月7日	区側報告書構成案の検討 等
第5回研究会	2月5日	報告書の検討 等

アンケート調査委託
株式会社ケー・デー・シー

令和2年度

特別区長会調査研究機構調査研究報告書一覧

テーマ名	提案区等
基礎自治体におけるテレワークの活用と実現方法	品川区
「持続可能な開発のための目標（SDGs）」に関して、特別区として取り組むべき実行性のある施策について	荒川区
自尊感情とレジリエンスの向上に着目した、育児期女性に対する支援体制構築に向けての基礎研究	板橋区
大局的に見た特別区の将来像	江戸川区
特別区における小地域人口・世帯分析及び壮年期単身者の現状と課題	基礎調査
特別区における職場学習の現状と効果的な学習支援のあり方	千代田区
特別区におけるごみ減量に向けた取り組みの推進と今後の清掃事業のあり方	江東区
将来人口推計のあり方	世田谷区
特別区が行うソーシャルビジネスの活動支援策～地域課題の現状把握を踏まえて～	世田谷区
債権管理業務における生活困窮者支援・外国人対応	中野区
地域コミュニティ活性化のためにとりうる方策	葛飾区

以上の11テーマを各テーマ別の報告書（計11冊）にまとめて発行しています。
各報告書は、特別区長会調査研究機構ホームページで閲覧できます。

<https://www.tokyo23-kuchokai-kiko.jp>

特別区長会調査研究機構

検索

CLICK!



令和2年度 調査研究報告書

自尊感情とレジリエンスの向上に着目した、 育児期女性に対する支援体制構築に向けての基礎研究

令和3年3月31日発行

発行：特別区長会調査研究機構 事務局：公益財団法人特別区協議会

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 3-5-1 TEL：03-5210-9053 Fax：03-5210-9873

※本書の無断転載・複製は、著作権法上での例外を除き禁じられています。

印刷所：図書印刷株式会社